

福岡県民

「節約を意識」9割超

民間調べ 生活防衛 映す

民間調査会社のジューコム（福岡市）が福岡県民を対象に実施した調査によると、節約を「意識している」と答えた消費者が9割超に上ることが分かった。特に女性の節約志向が強く、この1年間で節約した項目は「外食費」「電気・ガス・水道」

など生活に密着した出費が上位を占めた。

調査は8月中旬に同県内の20歳以上の男女319人を対象に実施。節約について「かなり」もしくは「ある程度」意識しているとの回答は計92・1%。女性は男性より6・5%高かった。節約の理由（複数回答）としては「将来が不安だから」が43・8%で最多だった。節約した項目（複数回答）では「外食費」の62・0%が最多。「電気・ガス・水道」（47・5%）、「通信費」（39・7%）などが続いた。ジューコムは「昨今の個人消費の不振を反映し、生活防衛意識が高まっている」としている。